

アクティブ・ラーニングと 図書館

鶴 衛学長



大学での学びを「学習」ではなく、「学修」と表現するようになった。

きっかけは、平成24年8月に出された中教審答申である。「新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて～生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学～」と題した答申で、学修に統一した。なぜそうしたのか。なるほどと思わせる理由がある。

本来、大学での学びは講義や演習、実験などともに、事前の準備や事後の展開なども含まれる。それらをまとめて学修と称し、その学修をもって単位を授与する。これこそが本来の姿である。

答申にあるように「生涯学び続け、主体的に考える人材」を育成するには、学生が主体的に問題を発見し解決していく能動的な学習（アクティブ・ラーニング）への転換、すなわち学修が不可欠というわけである。

そうすると、大学は一方向的な講義形式からグループ・ディスカッションやディベート、グループ・ワークなどを取り入れた教授・学習法に変わらざるを得ない。

学生もただ受動的に講義を受けてノートを取るのではなく、主体的に予習や復習に取り組むアクティブ・ラーニング、すなわち学修を実践しなければならない。その場所を提供するのが図書館である。

本学の附属図書館でも、まだまだ不十分ではあるが、外国語新聞閲覧装置やプレゼンテーション収録システムなどの「アクティブな学習を支援する新設備」を整備している。大いに活用してほしい。

本学の学生たちがこれらの電子機器やプレゼン室を使って外国語や表現力を磨き、卒業後はグローバル人材として国内外で活躍する一。そんな期待を膨らませている。

資料は「作品化」してこそ 意味がある

附属図書館長 三熊 祥文館長



図書館長という重職に任ぜられてから、試行錯誤が続いていますが、立場上よく考えるようになったことがあります。

現在、新たな学びの形態としてアクティブ・ラーニングが各方面で唱えられていますが、実は昔から「うまくいった」学びはアクティブ・ラーニングだったのです。私の専門の英語教育を例にとれば、ESSというサークルでは明治以来スピーチコンテストが主要活動であり、文法や単語を覚えて原稿を書く営みが、題材選びや論じ方を模索する作業とともに起動していました。当然、図書館での資料集めは重大関心事でした。その際の資料は、選んだ題材について知り、上手く用いて「作品」を作り出すために使われていたのです。

アクティブ・ラーニングは、そのような成功事例の理論的追認であり、大衆化に他なりません。本学でもゼミ活動はすでにアクティブ・ラーニングになっています。

図書館は図書や学術雑誌などの資料整備だけでなく、文献データベースの導入や他大学図書館との協力による資料提供サービスを通して、アクティブ・ラーニングの支援態勢を整えています。皆さんは図書館で情報源を手にしたら、プレゼンなどで他人に伝えるべく「作品化」してください。それこそがアクティブ・ラーニングなのですから。

図書館の 電子機器

電子黒板

図書館1階自習室にある電子黒板は、ワードやパワーポイントなどの画面を表示し、指や電子ペンで直接文字を書くこともできる画期的なツール！

グループで学習する時やテスト前に、友達に勉強を教えるために電子黒板をよく利用します。ノートでやりとりするよりスクリーン使った方が、勉強でつまづいた問題に戻ることができるほか、色ペンが透過するので、示したい内容と重ならずとても便利です。



機械システム工学科

村上 哲郎さん 峯本 篤志さん
山本 義明さん



数学が一番得意なので、大学では数学と関係の深い物理も平行して勉強しています。今後は、ボランティアにもっと積極的に参加して様々な交流をしていきたいと思っています。

私たちは、中国の瀋陽航空航天大学の短期留学生です。



付 文倩さん 楊 嵐さん

姚 曉丹さん 張 琦さん

CNN

図書館3階では英語によるCNNニュースの放映を大型ディスプレイで視聴できます。映像と同時に英語字幕が表示されるので、英語の読解力向上もまちがいない!

リスニングの速さに慣れるまで少し時間がかかりますが、毎日学習すればだんだんと能力が上達してきますよ。図書館で仲間と楽しく勉強することが言語勉強のコツです。

電子新聞

図書館1階新聞コーナーに設置されている電子新聞は、最新の記事から過去の記事まで、54の言語で97カ国から2,200以上の新聞が大画面タッチパネルで閲覧できる優れモノ!



留学生活では、ゼミ生と先生が研究に夢中になっている姿が特に印象に残っています。日本語は丁寧な言葉で、話をする時、自分も女らしくなった気分になりますね。ホストファミリーの両親をはじめ、たくさんの方が親切にして下さったことを忘れず将来、日本語や英語に関係のある分野で働けるよう頑張りたいと思います。

電子新聞は、世界中、特に欧米の情報を素早く閲覧できるのでとても便利です。また、TOEICなどの英語の試験を受ける前の勉強にも役立っています。



プレゼンテーション収録システム演習室

図書館3階に導入されたプレゼンテーション収録システムは、資料と録画した発表を効果的に編集できる装置。プレゼンテーションのリハーサルやゼミの発表などに活かそう!

僕は、科学技術英語の授業や英語サークルの発表の練習としてこの施設をよく利用しています。自分の発表を映像で確認できるので、内容や話し方を客観的にみることができますよ。今後の目標は大学院に進学することなので、この設備を利用することで自分の長所や改善点を確認し、スキルを磨いていけたらと思います。

プレゼンテーションは、一対多数であることを意識して、スクリーンに向かって話すのではなく、聞き手全員に向かって話すように気をつけています。



電気システム工学科
松川 義明さん



図書館Quiz
※クイズの答えは裏表紙を見てね!

問1.図書館1階自習室から見える有名な彫刻は何?
A. 考える人 B. 千手観音 C. ミロのヴィーナス